

資料 2

協議テーマ 公共施設の有効活用について

協議概要

- ・今年度を以て施設廃止が予定されている適沢コミセンの取り扱いについて

これまでの協議経過

第 6 回 [H19.11.21]

有効活用の方策がないかを協議。

1～2 回の協議で結論に至るのは困難と判断し、次回以降も継続協議することとした。

各委員は各団体等に持ち帰り検討することとした。

遅くとも年明け早々の結論をめざすこととした。

方向性としては、何とか施設を閉鎖せず、維持存続出来る方策を検討すべきとした。

第 7 回 [H19.12.19] <継続>

前回（第 6 回）からの継続協議。

前回までの経過から、維持存続に向け、現施設に殆ど手を加えることなく（予算を掛けないで）利用すること、施設を維持するため、ある程度の収入を見込めるものを前提に活用方策を検討。

風光明媚な利点を活かし、総合的な観光案内施設、地場産品等の直売所として活用することが望ましいとした。

誰でもが特産品等を持ち込める環境と全産業団体等をまとめられる観光協会がその中心となって運営するのが望ましいとした。

方向性は固まったが、次回以降さらに具体的に、実現に向け取り組むべき事を協議することとした。

- ・地域協議会としてどのような動きをしていくべきか？
- ・運営団体等への働きかけはどうすべきか？
- ・各産業団体との調整をどう図るか？ など

第 8 回 [H20.1.23] <継続>

[地域協議会としてどのような動きをしていくべきか？]

・施設の有効利用を基本にここまで検討してきた経過からも、運営団体への働きかけや、各種団体等との調整まで地域協議会が携わっていく。

・4 月以降も継続して活用することを前提に 1 月中の結論を目標に検討してきたが、予算的措置など時期的にも 4 月からの継続活用は困難と判断。次回以降も継続して、さらに具体的に検討し、少しでも早い時期での活用再開をめざす。

=最終リミットを 10 月と設定したが、少しでも早い結論をめざす。

- ・施設の有効利用を基本としたこれまでの協議経過を、一旦、市長に対し中間報告する。

[運営団体等への働きかけをどうすべきか？]

・(運営は観光協会にお願いすべきとしていたが観光協会では難色を示しているとの情報に)より具体的に運営可能な活用方法(各産業団体との調整やテナントの計画など)を検討したうえで、再度依頼すべきである。それらのコーディネート役を担う。

- ・しかし、初年度から黒字を見込むのは困難。場合によっては、地域振興基金など予算措置が必要になるのでは？

裏面へ続く

[各産業団体との調整をどう図るか？]

・まず、各産業団体に対し、全面的な協力(各会員の窓口など)を呼びかけたうえで、各会員に対して参加を呼びかけ協力(製品の提供やテナント出品など)を求めていく。=各団体との協議と参加希望者の募集など。それらのコーディネート役を担う。

以上を通じて、活用可能な道を探っていき、少しでも早い時期での再生をめざす。

その後の取り組み

1月31日、市長に対し、協議報告書を提出 <報告書>別紙

3月6~7日、各産業団体(各事務所)に趣旨説明、協力要請

- ・北石狩農協浜益支所 ・石狩湾漁協浜益支所
 - ・石狩北商工会浜益支所 ・石狩観光協会浜益事務所
- 各団体とも大まかな賛同得られた。

良い取り組みである。是非やって欲しい。協力する。各組合員、会員に示すのはある程度決まってから(テナント料や販売手数料など)の方が良いのでは? など。

(例)事業計画案

